

◆企画名	<u>ランチ交流会</u>
日 程	<u>2025年4月8日（火）, 10日（木）12:10～13:00</u>
場 所	<u>関西大学 千里山キャンパス 凜風館1階 ピアエリア</u>
参加者数	<u>16名（ピア・サポート6名、研修生4名、一般学生6名）</u>
目的	

新入生歓迎オリエンテーションでピア・コミュニティに興味を持った新入生や、今年から活動に参加したいと思っている学生に対して、ピア・コミュニティのメンバーと交流することで、ピア・コミュニティに関する情報を得られる機会をつくる。



内 容

凛風館1階のピアエリアにて、既に所属しているメンバーとピア・コミュニティに興味を持っている一般学生が、各自持ち寄った昼食を食べながら交流をした。その中でピア・コミュニティの雰囲気や活動を知ってもらう機会をつくる。

効 果

- ・ピア・コミュニティに興味を持っている一般学生にピア・コミュニティの活動を紹介することができた。
- ・対面で既存メンバーと話すことで、新入生が感じていた参加への不安や緊張感が和らぎ、ピア・コミュニティに対する心理的ハードルが下がるとともに、今後の活動参加への意欲が高まったと考えられる。
- ・活動内容や雰囲気について直接聞ける場があったことで、チラシや説明会だけでは伝わりづらいピア・コミュニティの魅力を効果的に伝えることができた。これにより、参加希望者の理解が深まったと考えられる。
- ・既存メンバーについて自身の活動について説明する場を持つことで、既存メンバーが改めてピア・コミュニティの意義を再確認し、今後の活動への自信やモチベーションの向上につながったと考えられる。
- ・ランチを通じたカジュアルな交流により、新入生と既存メンバーの間にフラットな関係性が生まれ、継続的なコミュニケーションや今後の参加へのつながりが期待できる。

改 善 点

- ・今回の交流会では、新入生が既存メンバーと直接交流できる機会を設けることができた一方で、参加者がイベントを通じてどのような印象を持ったか、またその後ピア・コミュニティへの参加意欲がどの程度高まったかなど、具体的な成果の把握は難しかった。

- 今後は、簡易的なアンケートや参加後の入会状況の記録などを取り入れることで、イベントの効果をより明確に分析し、次回以降の活動の改善に役立てたい。
- ・自由な会話も良いが、関心や目的が明確でないと話題が限定されがちになる。
→「ピア・コミュニティでやってみたいこと」や「大学生活で不安なこと」など、軽いテーマカードを用意すると、会話が広がりやすくなると考えられる。

感 想

今回のランチ交流会は、新入生や新たにピア・コミュニティに関心を持った学生に対して、実際に活動しているメンバーと直接交流できる貴重な機会となった。自由な雰囲気の中で昼食を共にすることで、リラックスした会話が生まれ、ピア・コミュニティの雰囲気を自然に伝えることができたと感じている。

一方で、参加者の満足度や今後の関わりにつながったかどうかを客観的に把握する仕組みがなかったため、今後は簡易なアンケートの実施や、イベント後のフォローアップ体制の検討が必要であると感じた。

初めての参加者にも安心して関わってもらえるよう、今後のイベントではより一層の工夫を重ね、ピア・コミュニティの魅力が伝わる場を作っていくたい。